

Nat-c. 古典的ケース

K 夫人は 37 歳の既婚者で、異なった夫の子供が 2 人いる。

1924 年、患者は子宮の腫瘍があるが、それは妊娠の妨げなることはないと言われた。それから数ヶ月後に、彼女は妊娠してやがて男の子を産んだ。

現在、彼女は子宮に大きな腫瘍があると 2 人の異なった婦人科医から言われている。ある外科医は、直ちに手術をしなければならないと言った。他の外科医は、故郷に帰って 6 週間後もしくは 2 ヶ月後に手術する準備のためにも十分に休息して体力をつけるべきだと言った。彼女はその準備のプロセスを促すように私に頼んだ。

月経は量が多く血の塊りが混ざっている。

月経中、彼女は頭頂が重たい感じがする。それは外から圧迫されているようである。横たわることや外気で好転し、立つことや食後に悪化する。

彼女はほんの僅かな音にさえ耐えられない。突然の音に彼女はギョツとする。音楽でイライラする。彼女はそれなりに音楽を楽しむが、今では音楽で涙を流す。

彼女はパンを好むが、頭痛を起こすので食べられない。

塩を好み、塩辛いものが好き。甘いものが好きだが、頭部に影響を及ぼす。

喉が渇かない。食欲はある。

睡眠は良いが、起きた時に新鮮な感じがしない。

彼女は新鮮な空気を好み、外にいることを楽しむ。

彼女はお腹にガスがたくさん溜まって膨張したように感じている。

これは腐った卵の臭いがする放屁によって軽減して、便は同じ臭いがする。

便秘の傾向があり、便秘でない時は便が不十分な感じがする。

一人の時や書いている時や自分の人生について熟慮している時にひとしきり泣く。

泣くことは彼女を和らげるように思われる。

彼女はとても怒りっぽい。どんな些細なことでも彼女を怒らせるように見える。

私は、特に精神症状や音楽に対する反応、便の特徴、全体的な印象に対して彼女に Natrum carbonica 200c. を 1 粒与えた。